

2024年度 JKA 補助事業「創造的・俯瞰的学びを実現する STEAM 教材の開発と高度化」の自己評価

自己評価結果：

2022 年度・2023 年度の経験を踏まえ、教材制作チームの成果物の一次提出を 1 か月前倒すことにより、レビュー会議で頂いたコメントの多くを完成版に活かして頂いた。レビュー会議では厳しいコメントも頂いたが、最終的には以下の「補助事業の直接的な目的」に照らし、十分な成果があったと評価する。

補助事業の直接的な目的
STEAM教育においては、生徒の年齢・学びの深さ、個性に応じ、科学技術のテーマ、社会課題のテーマなど多種多様、かつ、質の高い教材が必要である。このニーズに応えるには、多忙な学校の教員、産業界、国研などの個別の取組みでは応えられない。産学官公教が連携し、各々の知を結集できるような体制を構築し、代表的な質の高いモデル教材を制作し、さらにその制作過程を見える化するにより、質が高く効率的な教材制作の波及効果を期待できる。ここでは、5組のチームで5例の教材と見える化（動画）コンテンツを制作する。

レビュー会議で出された意見・コメント：

（事務局の進め方/教材全般に関して）

- ✓ 「教材としての利用」など、ガイドラインや留意点など、事務局からはじめにもっと明確に示すべきだったのではないかな。
- ✓ 動画を撮影してから修正するのは難しいので、シナリオの段階でレビューする機会があった方が良かったのではないかな。

（各チームの教材に関して（順不同））

- ✓ 動画のできとしては良いが、これを学校でどのように活かすかイメージが湧かない。指導案を作って貰った方が良い。
（→ 修正に反映）
- ✓ 細かい調査方法などが取められていて良いが、どうやってテーマを決めたのか、どのように外部の協力を得たのかなどが分かると良い。
（→ 修正に反映）
- ✓ チャレンジングなテーマ。タイムリーな話題で、参考になりそう。
- ✓ 情報の授業だが、探究で使えるように工夫されている。使い方の説明があるのも良い。
- ✓ 流れが分からない。各プログラムにどういう狙いがあるって、どういう成果を出しているかなどの全体構成を示した方が良い。また、伝えたいのは、生徒の成長を促す仕組みを整えてきたことだと思うので、どういう点を改善していったのか、どういう点を工夫したのか、どういう先生たちを巻き込んでこうなったのかの過程みたいなのところがあると良い。
（→ 修正に反映）
- ✓ 探究の具体的なモデルを示してあり、とても良い。小学校・中高との連携のイメージも湧いて良い。

- ✓ 現場で多くの先生が関与されていることなども報告されるとより多くの学校の参考になるものと思う。
(→ 修正に反映)

レビューの対象とした教材：

- 大分大学：地方で活躍する若者に迫る！～三浦里芳さんの挑戦～
- 東京都立国分寺高等学校：絶滅危惧種を救え
- 明照学園樹徳高等学校：感動を測るアンケートの作成～生成 AI の音楽は人を感動させることはできるか～
- 文京学院大学女子高等学校：ボリュームゾーンに位置する高校生を対象に 新たな価値を創造できる人材育成をめざした発展的な探究カリキュラムの実践展開
- 横浜国立大学：校庭の虫からはじめる生物文化多様性～E-STEAM 教材インセクトホテル～

レビューに参加頂いた有識者：

- 国立大学教授（工学博士）
- 公立高校教諭（理数系学科長）
- 公立高校主任教諭（SSH 担当）
- 私立校中等部校長
- 民間企業教育関連事業担当